2026 年 11 月 10 日
昭和シェル社友会　関西支部

社友会関西支部／観劇会の報告

1.開催日時：2026 年 11 月 8 日（日）15:00～19:00
2.開催場所：難波八阪神社／そばよし元町本店
3.参加人数：9 名（松村・木村勤・小林・高・水野・横山・生嶋・国沢・葛野）
4.天候：曇り　最高気温 17.5℃（晴れ時々曇り）
5.開催内容：「第 13 回なんばぎおん亭」
出演者は桂 福團治師匠・三代目露の五郎・露の五九洛・桂九寿玉でした。
午後 2 時 15 分に御堂筋線なんば駅に集合し、徒歩 15 分程度で難波八阪神社に到着でした。老若男女を問わず、外人観光客も含めて境内には人が一杯でした。なんば駅から近く、獅子殿という迫力のある建物があり、インスタ映えするのが人気の神社です。




社殿隣の和室で即席の高座を造った、席数 60 人程度での興行でした。
演目は以下の通りです。
最初に桂九寿玉「正月丁稚」：正月を迎えて、お雑煮でのお祝いの様子。大店の旦那と丁稚のコミカルな会話のお噺。




二番目に露の五九洛（延暦寺尼さん）「お血脈」：閻魔大王が石川五右衛門に「血脈の印」を盗ませるお噺。




真打前に三代目露の五郎「悋気の独楽」：旦那がお手かけ(妾)さん宅に泊まり、悔しがる正妻の女将さんと丁稚との会話のお噺。

最後は桂 春団治「蜆売り」：子供の蜆売りと大店の旦那さんの人情噺。春団治師匠の遠くへ去っていく「あさり～しじみ～」のかけ声に聴き入りました。

講演後、神社隣にあります由緒ある「そばよし元町本店」にて全員が参加して、夕食を兼ねての飲み会を楽しみました。最初に生ビール、おつまみに定番のアジフライ・出汁巻玉子・味噌土手焼・天婦羅をいただき、最後に胡麻の入った黒っぽいざる蕎麦を美味しくいただきました。

文責／写真：葛野厚志